中央区内景気動向調査（令和８年８月調査）結果概要

１　調査の目的

中央区内において景気に関連の深い動きを観察できる立場にある人々の協力を得て、地域の景気動向を迅速かつ的確に把握し、効果的な施策を実施するための基礎資料とすることを目的とする。

２　調査の客体

家計動向関連２５人及び企業動向関連２５人計５０人を調査客体とした。

なお、国においては、調査客体の構成比率を家計動向関連７、企業動向関連２、雇用動向関連１としている。（総調査客体２，０５０人）

３　調査事項

（１）景気の現状に対する判断（方向性）及び理由（五者選択及び具体的理由等）
（２）景気の先行きに対する判断（方向性）及び理由（　　〃　　）
（３）現在の景気水準に対する判断（参考）

４　調査期間等

調査票発送　　８月　７日（金）
回答期限　　８月１９日（水）

５　調査委託先

株式会社日本経済研究所

６　有効回答率

調査客体５０名に対し、有効回答客体４０名、有効回答率は８０．０％

７　調査結果の概要

（１）景気の現状（３カ月前との比較）に対する判断ＤＩ

現状判断ＤＩは、全体で４６．９と前回調査より１．４ポイント低下している。

分野別にみると、家計動向関連のＤＩは前回調査より３．０ポイント低下して４５．８となり、企業動向関連のＤＩは前回調査より０．１ポイント低下して４７．７となった。

（２）景気の先行き（３カ月後の予測）に対する判断ＤＩ

先行き判断ＤＩは、全体で５０．６と前回調査より１２．２ポイント上昇している。

分野別にみると、家計動向関連のＤＩは前回調査より１０．０ポイント上昇して５０．０となり、企業動向関連のＤＩは前回調査より１４．１ポイント上昇して５１．１となった。

（３）現在の景気水準に対する判断ＤＩ（参考）

全体で前回調査より１．９ポイント上昇して５１．３となった。

８　次回

次回は、令和８年１０月に実施する。（２カ月ごと）